

## 感染症法に基づく医療措置協定に係る事前調査票

送信先：福井県健康福祉部健康医療局保健予防課  
メール：iryousochi@pref.fukui.lg.jp FAX：0776-20-0772

病院・有床診療所用

様式1

### 【前提】

改正感染症法により「新興感染症」（①新型インフルエンザ等感染症、②指定感染症、③新感染症が基本）の発生・まん延時に、医療提供体制の確保に必要な措置を迅速かつ適確に講ずるため、県は医療機関等（病院、診療所、薬局、訪問看護事業所）や、検査機関、宿泊施設と協定を締結することとされました。国の方針としては、これまでの対応の教訓を生かすことができる新型コロナ対応を念頭に取り組むこととし、厚生労働大臣が新興感染症の発生を公表してから、①初動の体制として「流行初期」（当該公表後3か月まで）、②その後、新型コロナ対応の際の最大の体制を確保して「流行初期以降」（当該公表後4～6か月）に対応することとしております。つきましては、これまでの新型コロナ対応の実績を踏まえ、上記国の方針も考慮した上で、今後、新興感染症が発生した際の対応見込みについて、以下の問いに回答いただきますようお願いします。

※新型コロナへの対応を念頭に協定を締結します。実際に発生・まん延した感染症が「事前の想定とは大きく異なる事態」となった場合は、その感染症の特性に合わせて協定の内容を見直すなど、実際の状況に応じた機動的な対応を行います。

### 【記入に関する注意】

- ・網掛け箇所は記載必須項目です。網掛け箇所に空欄が残らない状態でご提出ください。
- ・今後の協定締結（今年度秋以降）を念頭に、現時点での見込数等についてご回答ください。
- ・原則として、本回答に基づき協定を締結する予定です。
- ・ただし、協定締結にあたっては、各医療機関と協定内容について事前に協議を予定しており、本回答によって協定の内容が確定するものではありません。

### 1 基本情報

- (1) 医療機関種別【病院・有床診療所】
- (2) 医療機関名称
- (3) 医療機関所在地
- (4) 担当部署
- (5) 担当者氏名
- (6) 電話番号
- (7) メールアドレス

病院
●●病院
福井市大手3-17-1
感染症対策部
福井 太郎
0776-00-0000
iryousochi@pref.fukui.lg.jp

### 2 新型コロナ対応の実績

- (1) 2022年（令和4年）12月以降の新型コロナウイルス感染症患者用の最大確保病床数  
うち新型コロナウイルス感染症重症患者用の最大確保病床数
- (2) 新型コロナ対応において、重点医療機関または協力医療機関としての指定を受けていたことがありますか【有・無】
- (3) 2022年（令和4年）12月以降、診療・検査医療機関の指定を受けていましたか【有・無】
- (4) 新型コロナ対応において、自宅療養者等への対応（健康観察・診療医療機関としての対応や高齢者施設等への往診・派遣）を行いましたか【有・無】
- (5) 新型コロナ対応において、後方支援医療機関としての役割をしていたことがありますか【有・無】
- (6) 新型コロナ対応において、他の医療機関等に医療従事者の派遣の協力を行ったことがありますか【有・無】
- (7) 新型コロナ対応において、個人防護具を備蓄していましたか【有・無】

20
2
有
有
有
有
有
有

### 【記入に際してご注意いただきたいこと等】

- ・網掛け箇所（黄色セル）は入力必須項目となります。
- ・最終的に黄色セルに空欄が残らない状態で回答データを送付願います。
- ・白いセルは自動で表示されるので入力不要です。
- ・今後の協定締結（今年度秋以降）を念頭に、現時点での見込数等について回答ください。
- ・原則として、本回答に基づき協定を締結する予定です。
- ・ただし、協定締結にあたっては、各医療機関と協定内容について事前に協議を予定しており、本回答によって協定の内容が確定するものではありません。

3 医療措置

① 病床確保

患者の受入病床として確保可能な病床（感染症病床及び結核病床は除く）の見込み数について、以下に病床区分ごとにご回答ください。

※【流行初期】は県内で約100床を確保（2020年冬（令和2年）の入院患者の規模）することを想定、【流行初期以降】は県内で約400床を確保（新型コロナ対応で確保した最大値の体制）することを想定

なお、（参考）新型コロナ実績値については、2020年12月の最大確保病床数及び2022年12月以降の最大確保病床数をご記載ください。

※特別に配慮が必要な患者用病床数には兼用病床を含みます。

（単位：床）

項目	見込数 【流行初期】 （発生公表後1週間程度～3か月の間に実施）		（参考）新型コロナ実績値 （2020年12月の診療・検査医療機関としての対応）		見込数 【流行初期以降】 （発生公表後4～6か月の間に実施）		（参考）新型コロナ実績値 （2022年12月以降の診療・検査医療機関としての対応）	
	可否（○・×）	病床数	可否（○・×）	病床数	可否（○・×）	病床数	可否（○・×）	数値
確保予定病床数（全体）		15		15		20		20
うち 重症者用病床数		2		2		3		3
うち、特別に配慮が必要な患者用	可否（○・×）	病床数	可否（○・×）	病床数	可否（○・×）	病床数	可否（○・×）	数値
精神疾患を有する患者	×	0	×	0	×	0	×	0
妊産婦	○	1	○	1	○	1	○	1
小児	×	0	×	0	○	1	○	1
障害児・者	×	0	×	0	×	0	×	0
透析患者	×	0	×	0	×	0	×	0

①病床確保

・「流行初期」とは、感染症法に基づく、厚生労働大臣による新型インフルエンザ等感染症等に係る発生の公表（新興感染症に位置付ける旨の公表）から3か月までです。

・流行初期については、公的医療機関等を念頭に体制を確保することを目指しており、新型コロナ発生の公表後約1年後の入院患者数の規模に前倒して対応できるよう、2020年12月の確保病床数の実績値を参考として回答ください。（感染症病床及び結核病床は除きます）

・「流行初期以降」は、公的医療機関等に加えて対応可能な民間医療機関も中心となった対応とし、流行初期後3か月程度（発生の公表後4～6か月）を目途に、順次速やかに全ての協定締結医療機関での対応を目指します。

・流行初期以降の見込数については、新型コロナ対応で確保した最大値の体制を目指すこととしているため、2022年12月以降現在の確保病床数の実績値（最大値）を参考として回答ください。（感染症病床及び結核病床は除きます）

※「特別に配慮が必要な患者用」病床数は、確保予定病床数のうち、各項目の患者の受入可能数（最大値）を回答ください。

② 発熱外来

発熱外来として対応可能な1日当たりの患者数の見込みについて、以下にご回答ください。あわせて、普段から自院にかかっている患者（かかりつけ患者）以外や小児の対応が可能かご回答ください。（単位：人/日）

項目	見込数		見込数	
	【流行初期】 (発生公表後1週間程度～3か月の間に実施)	(参考) 新型コロナ実績値 (2020年12月の診療・検査医療機関としての対応)	【流行初期以降】 (発生公表後4～6か月の間に実施)	(参考) 新型コロナ実績値 (2022年12月以降の診療・検査医療機関としての対応)
発熱外来患者数	5	5	15	15
検査（核酸検出検査）数 ※検体の採取のみを行い、分析を外部委託する場合は除く	5	5	15	15
普段から自院にかかっている患者（かかりつけ患者） <u>以外</u> の受入可否【○・×】	○			
小児の受入可否【○・×】	○			

県や県医師会等によって検体採取センター等が設置された場合、人材の派遣が可能かご回答ください。

項目	【流行初期】 (発生公表後1週間程度～3か月の間に実施)	【流行初期以降】 (発生公表後4～6か月の間に実施)	(参考) 新型コロナ実績
医師【○・×】	○	○	○
看護師【○・×】	×	○	○
その他【○・×】（職種： ）	×	×	×

②発熱外来

・流行初期（発生公表後1週間程度～3か月）の「（参考）新型コロナ実績値」は、新型コロナ発生後1年後（2020年12月）の外来対応数・検査数の実績値を参考としてご回答ください。

・流行初期以降（発生公表後4～6か月）の「（参考）新型コロナ実績値」は、新型コロナ対応で確保した最大の体制（2022年12月以降）の実績値を参考としてご回答ください。

・検査（核酸検出検査）数には、PCR法、LAMP法、TRC法、TMA法、NEAR法の検査数を回答ください。※抗原検査（定性、定量）は含みません。

・検査数は、医療機関内で検体の採取及び検査の実施まで行う場合に、持続的に検査可能な（最大の）数を回答ください。※医療機関で検体の採取のみを行い、分析は外部に委託する場合は検査の実施能力に含みません。

・検体採取センターは、新型コロナ対応時に設置したものと同等のものを想定しており、患者の検体採取やその他補助的な業務に従事していただく予定です。

・「その他職種」については、具体的な職種の名称（薬剤師、臨床検査技師、業務調整員等）を「（職種： ）」に記載してください。

③ 自宅療養者等への医療の提供

自宅療養者等への医療の提供が可能かどうか、以下にご回答ください。

項目	【流行初期】 (発生公表後1週間程度～3か月の間に実施)		【流行初期以降】 (発生公表後4～6か月の間に実施)		(参考) 新型コロナ実績	
	電話/オンライン診療	往診等	電話/オンライン診療	往診等	電話/オンライン診療	往診等
自宅療養者等への医療提供の可否 (○・×)	○	○	○	○	○	○
うち、自宅療養者対応 (○・×)	○	○	○	○	○	○
⇒かかりつけ患者以外の自宅療養者対応 (○・×)	○	○	○	○	○	○
うち、宿泊療養者対応 (○・×)	○	○	○	○	○	○
うち、高齢者施設対応 (○・×)	×	×	○	○	○	○
うち、障害者施設対応 (○・×)	×	×	○	○	○	○
1日に対応可能な自宅療養者等の人数	1	1	2	3	2	3

④ 自宅療養者等への健康観察の対応

自宅療養者等への健康観察が可能かどうか、以下にご回答ください。

項目	【流行初期】 (発生公表後1週間程度～3か月の間に実施)		【流行初期以降】 (発生公表後4～6か月の間に実施)		(参考) 新型コロナ実績	
	電話/オンライン診療	往診等	電話/オンライン診療	往診等	電話/オンライン診療	往診等
健康観察の対応の可否 (○・×)	○		○		○	
うち、自宅療養者対応 (○・×)	○		○		○	
⇒かかりつけ患者以外の自宅療養者対応 (○・×)	○		○		○	
うち、宿泊療養者対応 (○・×)	○		○		○	
うち、高齢者施設対応 (○・×)	×		○		○	
うち、障害者施設対応 (○・×)	○		○		○	
1日に対応可能な健康観察の人数	2		5		5	

⑤ 後方支援

後方支援の対応（回復患者の転院受入れ、病床の確保の協定を締結している医療機関に代わっての一般患者の受入れ）が可能かどうか、以下にご回答ください。

項目	【流行初期】 (発生公表後1週間程度～3か月の間に実施)		【流行初期以降】 (発生公表後4～6か月の間に実施)		(参考) 新型コロナ実績	
	電話/オンライン診療	往診等	電話/オンライン診療	往診等	電話/オンライン診療	往診等
回復患者の転院受入の可否【○・×】	○		○		○	
病床確保する医療機関に代わっての一般患者の受入の可否【○・×】	×		○		○	

③ 自宅療養者等への医療の提供

- ・流行初期以降（発生公表後4～6か月）の対応可否について、新型コロナ対応で確保した最大値の体制（2022年12月以降）の実績を参考に回答ください。
- ・宿泊療養者は県等が設置する宿泊療養施設で療養する方を想定しています。
- ・高齢者施設は介護老人福祉施設（地域密着型を含む）、介護老人保健施設、介護医療院、特定施設入居者生活介護（地域密着型を含む）、認知症対応型共同生活介護、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅を想定しています。

⑤ 後方支援

- ・流行初期（発生公表後1週間程度～3か月）及び流行初期以降（発生公表後4～6か月）の、感染症の回復患者（隔離が不要な者）の転院受入の可否、病床確保する医療機関に代わっての一般患者の受入可否について回答ください。

⑥ 人材派遣

新興感染症発生・まん延時に、他の医療機関等に人材派遣が対応可能な人数の見込みについて、以下にご回答ください。

人材派遣の実施の可否 (○・×)

人材派遣対応ができない場合は、以下の記載は不要です。

(単位：人)

項目	見込数 【流行初期】 (発生公表後1週間程度～3 か月の間に対応)		見込数 【流行初期以降】 (発生公表後4～6か月の間 に対応)		(参考) 新型コロナ実績値	
	うち、県外派遣可能な人数	うち、県外派遣可能な人数	うち、県外派遣可能な人数	うち、県外派遣可能な人数	うち、県外に派遣した人数	うち、県外に派遣した人数
人材派遣者数合計欄	4	1	9	2	9	2
医師 (合計)	2	1	3	1	3	1
看護師 (合計)	2	0	5	1	5	1
その他 (合計) (職種：薬剤師 )	0	0	1	0	1	0
感染症医療担当従事者として派遣可能な数	2	1	4	2	9	2
医師	1	1	2	1	3	1
看護師	1	0	2	1	5	1
その他 (職種：薬剤師 )	0	0	0	0	1	0
感染症予防等業務対応関係者として派遣可能な数	3	0	5	0	5	0
医師	1	0	2	0	2	0
看護師	1	0	2	0	2	0
その他 (職種：薬剤師 )	1	0	1	0	1	0
DMAT (医師、看護師、その他)として派遣可能な数	2	0	2	0	2	0
医師	1	0	1	0	1	0
看護師	1	0	1	0	1	0
その他 (職種：薬剤師 )	0	0	0	0	0	0
DPAT (医師、看護師、その他)として派遣可能な数	0	0	0	0	0	0
医師	0	0	0	0	0	0
看護師	0	0	0	0	0	0
その他 (職種：薬剤師 )	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
医師	0	0	0	0	0	0
看護師	0	0	0	0	0	0
その他 (職種：薬剤師 )	0	0	0	0	0	0

訓練・研修の実施・派遣参加

※自院で訓練・研修を実施、もしくは外部機関で実施する訓練・研修に派遣することを見込む場合(1年あたり1人以上)に○を

⑦ 個人防護具の備蓄

個人防護具の備蓄の予定等について、以下にご回答ください。

項目	備蓄予定		(参考)
	○か月分	○枚	新型コロナ発生・まん延時の施設の 消費量2か月分 (単位：枚)
サージカルマスク	2	8,500	7,950
N95マスク	2	450	430
アイソレーションガウン	2	1,200	1,150
フェイスシールド	2	500	350
非滅菌手袋 (双ではなく枚で記載)	2	64,000	58,000

※個人防護具について、裏面にG-M-I-S週次調査により判明した規模別・物資別の平均消費量(令和3年度および令和4年度平均値)を掲載しています。必要に応じて参考にしてください。

⑥人材派遣

・人材派遣とは、新興感染症発生・まん延時に、派遣元の医療機関との雇用関係を維持したまま、知事の要請に基づき派遣を行うものを指します。具体的には以下の場合に対応する事務職を含めた医療関係者を想定しています。

○急速な感染拡大により、感染症対応に一定の知見があり、感染者の入院等の判断・調整を行う医師や看護師が不足する場合

○特定の医療機関において大規模クラスターが発生し、多数の医療従事者の欠勤が発生、診療体制の継続が難しい場合など、医療人材が局所的・臨時的に不足する場合

・他の入院医療機関等に期間中(流行初期(発生後1週間程度から3か月まで)または流行初期以降(発生公表後6か月まで))に1日以上派遣可能な実人数を回答してください。

・「うち数」は重複して構いません。(例：感染症医療担当従事者かつDMAT人材の場合は、それぞれの項目に重複して人数を入力)

・「感染症医療担当従事者」とは、感染症患者に対する医療を担当する医師、看護師その他の医療従事者です。(病棟、外来の従事者を想定)

・「感染症予防等業務対応関係者」とは、感染症の予防及びまん延を防止するための医療提供体制の確保にかかる業務に従事する医師、看護師、その他の医療関係者です。(感染対策部門の従事者を想定)

・「その他職種」については、具体的な職種の名称(薬剤師、臨床検査技師、業務調整員等)を「(職種： )」に記載してください。

・「訓練・研修の実施・派遣参加」は、院内外を問わず、PPEを着用した診療・検体採取訓練や移送訓練等の感染症患者対応の訓練・研修の実施の見込みを回答ください。

うち数  
(重複可)

⑦個人防護具の備蓄

・備蓄予定は「○か月分」、「○枚」いずれも回答ください。備蓄の予定がない場合「0」を入力してください。

・備蓄量は医療機関の使用量2か月分以上とすることを推奨します。「2か月」については、感染の波による需要の急増と、輸入の途絶が同時に発生する場合に、需給が最も逼迫する期間として設定しています。

・使用量2か月分を定める場合、特定の感染の波における使用量での2か月分ではなく、令和3年や令和4年を通じた平均的な使用量で2か月分を設定してください。

※N95マスクについては、DS2マスクでの代替も可能です。

※アイソレーションガウンには、プラスチックガウンも含まれます。

※フェイスシールドについては、再利用可能なゴーグルの使用での代替も可能です。この場合において、ゴーグルは再利用が可能であり、有事におけるその医療機関での1日当たり使用量を備蓄することを推奨します。必要人数分の必要量を確保していれば、フェイスシールドの備蓄をすることを要しないものとし、かつ、フェイスシールドの使用量2か月分を確保しているのと同様なものとします。

※非滅菌手袋については双ではなく枚で記載することにご注意ください。(両手に着用する場合は2枚とカウント)

裏面あり

< 1 病院あたりの個人防護具の 1 週間想定消費量 (全国平均) >

	サージカルマスク	N95・DS 2マスク	アイソレーシ ョンガウン	フェイスシ ールド	非滅菌手袋
200 床未満	1,026 枚	54 枚	146 枚	59 枚	7,904 枚
200～399 床	3,194 枚	187 枚	584 枚	209 枚	22,908 枚
400～599 床	4,932 枚	387 枚	820 枚	489 枚	52,156 枚
600～799 床	8,106 枚	601 枚	1,407 枚	743 枚	88,782 枚
800～999 床	15,084 枚	875 枚	1,734 枚	1,530 枚	141,202 枚

< 1 診療所あたりの個人防護具の 1 週間想定消費量 (全国平均) >

	サージカルマスク	N95・DS 2マスク	アイソレーシ ョンガウン	フェイスシ ールド	非滅菌手袋
病床なし	79 枚	6 枚	17 枚	11 枚	272 枚
病床あり	160 枚	7 枚	19 枚	13 枚	662 枚

< 1 病院あたりの個人防護具の 2 か月想定消費量 (全国平均) >

	サージカルマスク	N95・DS 2マスク	アイソレーシ ョンガウン	フェイスシ ールド	非滅菌手袋
200 床未満	8,796 枚	466 枚	1,255 枚	509 枚	67,754 枚
200～399 床	27,376 枚	1,606 枚	5,002 枚	1,789 枚	196,354 枚
400～599 床	42,278 枚	3,321 枚	7,033 枚	4,189 枚	447,054 枚
600～799 床	69,483 枚	5,150 枚	12,060 枚	6,366 枚	760,996 枚
800～999 床	129,290 枚	7,501 枚	14,865 枚	13,116 枚	1,210,304 枚

< 1 診療所あたりの個人防護具の 2 か月想定消費量 (全国平均) >

	サージカルマスク	N95・DS 2マスク	アイソレーシ ョンガウン	フェイスシ ールド	非滅菌手袋
病床なし	674 枚	55 枚	149 枚	98 枚	2,332 枚
病床あり	1,370 枚	57 枚	165 枚	114 枚	5,668 枚